

日 時：平成26年10月14日（火）18時30分～20時10分

場 所：苗生松多目的集会所

対象町会：苗生松・西の平

参加人数：17名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○街灯のLED化について (市民からの要望・質問)</p> <p>以前、市が街灯のLED化に対して補助を考えているという話を伺ったが、詳しく聞かせてほしい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・4月に行われた行政委員連絡会議の場で、「街灯の電気料が高いので助成してほしい。」という意見があったことを踏まえ、検討した結果、市内4072カ所の街灯をすべて市の経費でLED化することとし、6月議会で補正予算が可決された。できれば来年度で実施したいと思っている。・LED化の主なメリットは、①明るくなること ②長持ちすること ③電気料が安くなることである。・LED化により電気料が安くなることから、町会内の街灯の電気料は、これまでどおり町会に負担をお願いしたい。
<p>○短命県返上への取組みについて (市民からの要望・質問)</p> <p>青森県では短命県返上の取組みが行われている。平川市でも健診の無料化などの取組みが始まり、非常に助かっている。また、町会が保健協力員と協力して健康づくり事業を実施する場合に助成が受けられるという話も伺った。このことについてお話を伺いたい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・青森県の平均寿命は短い状態である。原因の1つとして、小さいうちに亡くなる子供が全国と比較して多いこと、また、自殺者も多いこともある。乳幼児の死亡率は改善されてきたものの、自殺者については依然として多い。・自殺者が多い大きな理由は2つ考えられ、経済的な理由と健康的な理由である。特に経済的な理由で自殺する方が多いようである。・平均寿命も男性で80歳を超えたが、青森県男性の平均寿命は76歳くらいで、さらに平川市男性の平均寿命は75歳くらいである。・私は健康寿命を長くするようにしたいと思っている。平均寿命と健康寿命は10歳くらい違うと言われている。健康寿命のアップを図る政策を進めていきたい。

- ・昨年、3種類の健診を無料化し、今年度残りの3種類を無料化した。これまで健診の受診率は頭打ちの状態が続いていたが、このことで受診率が5%ほどアップした。5%という伸びは非常に大きいと思っている。
- ・本県と気候が似ている新潟県の平均寿命が長いということで、新潟県で取り組みを進めた実績のある先生をお招きし、講習を行っている。
- ・目標としては、介護が必要になる年齢を5歳遅らせることとしている。これにより、医療費や介護費用も少なくて済むことにもつながる。
- ・今年開始した事業として、「地域の健康づくり活動支援事業」がある。町会が保健協力員などと連携して講演会や料理教室などを行った場合、10万円の助成を行うもので、5団体分の予算を確保している。3年間の計画で進める予定である。
- ・平成18年の10万人あたりの自殺者数で、平川市の男性が全国で一番多かった。
- ・その時の全国数値が23.7人、青森県が31人、平川市が53人であった。
- ・特に50代の男性が一番多かった。また、時期的には1月と4月が多かった。また、最近の傾向としては30代も多い。
- ・市でも自殺防止対策に力を入れている。心の状態を伺うアンケート調査（結果により保健師等が相談に対応）や、傾聴サロンなども行っており、ここ数年は自殺者数も減少している。

○市営住宅の水銀灯について

（市民からの要望・質問）

街灯のLED化を進めるということであったが、市営住宅駐車場の水銀灯もLED化の対象になるか。

（市の回答）

- ・水銀灯については調査し、担当課から連絡させます。水銀灯も電気料がかかると思うので、取り替えることができればいいと思うが、まずは確認します。

○若者の定住対策について

（市民からの要望・質問）

町会の役員を20代の頃からやっている。町会内の状況を見ても、若い人が就職する時に弘前や県外などに行ってしまうため、若い人が少なくなったように感じている。若い人に地元にももらえるような対策をお願いしたい。

（市の回答）

- ・高齢化は市全体で進んでおり、特に碓ヶ関地域の高齢化率は46%を超えている。約2人1人が高齢者という状態である。
- ・地元での雇用の場、産業の育成に取り組んでいる。今は大きな企業が来る時代でもなく、今ある企業を支援しながら雇用の場を確保していくことが一つの方法だと考えている。

- ・幸い、弘前市にも近いこともあり、隣の市の雇用の場を借りながらも、平川市を住みやすい街にして、宣伝していきたい。
- ・新しい住宅も建ち始めている。市街化区域を増やすことはできないが、市街化調整区域内の小規模な開発により、住宅を建てやすくしている。
- ・第2子からの保育料無料化にも取り組んでいる。これまでも第3子からの無料化は行っていたが、平川市の特定出生率が1.28（県は1.41）であり、1人しか産まない人が多い中、子育てしやすい環境を作ることで人口減少に対する取り組みを進めていきたい。

○防災無線について

（市民からの要望・質問）

防災無線の運用が開始されたようだが、テレホンガイドの回線が1つしかないと聞いた。いざという時につながらないことも考えられる。1回線では足りないのではないか。

苗生松町会は隣の町会と近いこともあり、近隣の放送も同時に聞こえてくるため聞き取りにくく、役に立っていない。大鰐町では時間をずらして放送していると聞く。

行方不明者の放送がかかることがあるが、見つかったのかどうかわからない。

（市の回答）

- ・電話番号は1つだが、回線は6つ持っています。
- ・近隣の放送が同時に聞こえることについては、時間をずらして放送するなどの工夫が必要かもしれない。
- ・まだ工事期間中であるので、業者に指示して調整させるようにします。
- ・2回放送しているが、それでも足りないと言われる。
- ・せっかく整備するのだから、様々な調査をしながら進めていきたい。
- ・行方不明者が見つかったかどうかは、家族の同意もなければ放送できないためご理解願いたい。

○松崎の河川敷公園について

（市民からの要望・質問）

昨年の台風の災害から1年以上経過したが、平川の河川敷にある施設をどうするのか。早く直してほしい。

（市の回答）

- ・河川敷公園は県が整備した施設で市が委託を受けて管理している。
- ・バスケットのコートだけは修繕したがテニスコートや野球場などはまだである。県と協議しているがなかなか進んでいない。
- ・ゴミもすごい状態であり、車が入れないようにしているが、それでも入っていく車があり、たまり場のようにになっている。

- ・遊び場として、河川敷公園は整備したいとは思っているがなかなか進まない。
- ・河川敷公園は、大雨の増水で壊れることがあっても仕方がないという考えで作られたものである。
- ・橋の下が全然見えず、いたずら書きやゴミが多い。
- ・元どおりに戻す費用は1億円と見込まれている。国県でも予算の都合もあり、複数年をかけて半分程度は直すという回答は得ている。何とか国や県に予算を確保してもらい、整備してほしいと思っている。
- ・今後の総合運動施設の整備に伴って雪捨て場なくなるので、河川敷の一部を雪捨て場にできないかという話も出ている。
- ・雪捨て場のスペースも確保しながらどのように整備を進めていけばいいのか、検討を進めていきたい。ご理解をお願いします。

○空き家対策について

(市民からの要望・質問)

苗生松町会の中に空き家が9件ある。市内でも相当あると思うが、今後、相続放棄してしまう人が出てくることも考えられるが、市ではどのように考えているか。

近年休耕田も増えているので、新規就農希望者へ貸すことなども検討してはどうか。

(市の回答)

- ・空き家は全国的に問題となっている。平川市でも約400件の空き家がある。全国では820万件と聞いている。
- ・撤去するにしても費用は税金となるため非常に悩ましいところである。
- ・市では来年3月までに空き家対策の条例を作ることとしている。ただ、条例を作って市が撤去し、費用を持ち主に請求できるようにしたとしても、持ち主に市が立替えた費用を返してもらえなければ何も変わらない。
- ・空き家を解体し更地にすると、土地の固定資産税が高くなるため、法律の改正を考えるとこの話もきくが、詳しくは未定である。
- ・今にも倒壊しそうな危険な空き家で、市が解体しなければならないという所もある。しかし400件全てを市でやるわけにもいかない。
- ・空き家の活用方法も考えている。まだ使える空き家もあるのでそれらを把握して活用できないかと思っている。
- ・都市部への情報発信も考えていきたい。
- ・相続放棄への対応についても、専門家を招いた検討を進める予定である。

○粗大ごみの有料化について

(市民からの要望・質問)

数年前から粗大ごみの回収が有料化されたが、無料化に戻せないか。

(市の回答)

- ・本来は粗大ごみに出せないものも持ってくる人が増えてきたことや、高齢などにより回収場所まで持ってこられない方も増えてきたことから粗大ごみの回収の有料化を開始し、自宅へ回収に伺うようになった。
- ・本来出せないものを持ってくるなどの対応や後始末で、町会の役員の方たちも困っていると聞いていた。
- ・一方で、有料化により不法投棄も増えないか心配である。有料化の仕組みが手間と感じる人もいると思うので、対応を考えなければならないと思っている。
- ・粗大ごみについては、今のところ無料に戻すことは考えていません。
- ・市民からの指摘事項は改善しながら進めており、ご理解をお願いします。

○農道の舗装工事について

(市民からの要望・質問)

昨年11月、苗生松と館田の境界の農道の舗装工事があったが、町会にはまったく連絡がなかったため、工事の際には連絡してほしい。舗装の幅も非常に狭く、もう50センチ幅を広くしてほしい。軽トラックのすれ違いもできない。

(市の回答)

- ・国からの交付金の関係で急いで事業実施箇所を決めて実施しなければならなかった工事である。
- ・こういった声があったことを担当課に伝えます。

○アメリカシロヒトリについて

(市民からの要望・質問)

アメリカシロヒトリが苗生松でも出始めている。市から薬剤をもらい町会内の4人メンバーの協力を得て散布した。大変助かったので今後も続けてほしい。

(市の回答)

- ・農薬の助成は続けていきます。

○コミュニティ育成奨励金について

(市民からの要望・質問)

コミュニティ育成奨励金は非常に助かっている。毎年報告することとなっているが、使わずに数年分をためて、まとめて使うようにできないか。集会施設の修繕などに使いたい。

(市の回答)

- ・現在の要綱では、補助金は年度で区切っており、毎年報告していただいている。
- ・今後は防犯灯の数などに基づいた見直しや、内容を改善する検討は続けていきたい。

- ・検討の際には、使わずにためてまとめて使うことも話題としたいと思う。
- ・集会所の修理については、10万円までは町会負担、10万円を超えた分は一定割合を市が補助している。苗生松町会では8割が市の補助である。

○平川の土手の道路について

(市民からの要望・質問)

平川の土手の道路については、平川の河川敷でりんご等を耕作している人などが利用している。近年、弘前市の業者が10tトラックで雪を捨てに来たりして、道路がでこぼこになってしまった。この事業者を調べて7月3日に電話をかけ対応をお願いしたが、未だに状況は変わらない。個人の方ではどうにもできず、市の方から頼んでほしい。

(市の回答)

- ・土木課を通して県に伝えます。
- ・河川敷に雪を捨てるのは違反である。
- ・内水面漁協からも指摘されるだろう。

○市営住宅の駐車場について

(市民からの要望・質問)

市営住宅の駐車場が少ないので、20～30台分のスペースを確保できないか。住宅敷地内に公園があるが、遊具も老朽化に伴い撤去されてしまい、現在は年に数回草を刈っているだけであるので、その場所を駐車場にすることはできないか。一定の面積の公園が必要なルールがあるのかもしれないが、車を置く場所のいざこざが絶えず、特に冬場は毎日のように苦情がくる。路上駐車があると除雪車も入ってこない。何とかしてほしい。

(市の回答)

- ・公園をつぶして駐車場とした場合、子供たちが遊ぶ場所もなくなってしまう。
- ・まずは現場を見てからだが、当初団地を建てる時の基準などで、公園の設置が義務付けられていた可能性もある。調べてから回答します。

○除雪した雪の置き方について

(市民からの要望・質問)

除雪をした雪を農道に置いていくが、その先に畑のある人もおり、困っている。雪の置き場に注意してほしい。両脇の田に捨てるなどできないものか。

(市の回答)

- ・除雪事業者に対して注意するよう連絡しておく。
- ・田に捨てるとしても、砂利が雪と一緒に田に入ってしまうこともあり、簡単に行かない場合もある。